



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

平成27年1月発行
発行元 NPO法人 ユーアンドアイ
発行責任者 佐藤真智子

ハローユーアンドアイ

第66号

私たちは・・・

歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、
心豊かに暮らしていける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

明けましておめでとうございます

年頭にあたり、今年も皆様にとりましてお健やかな1年となりますよう祈念いたします。

新年を迎え、改めて私達を取り巻くこれまでの流れを考えてみました。阪神淡路大震災の後、NPO法により市民活動が促進され、同時期、市町村の介護保険計画作成に当たり委員会に市民公募の枠が出来ました。その介護保険のサービスには民間事業者等でNPO法人も参入可となり、市民協働も少しずつ進められ、介護保険も浸透し安心な老後のはずでした。が、介護保険が財政的に厳しくなり(ある意味当然)、この度の法改正により、要支援や比較的軽い方を地域で“絆”を結びなおし“お互いさま”で支えようということになりました。

そこに元気高齢者は“生きがい”として関わり、又、自身の介護予防にも努め“健康寿命”を伸ばしてくださいという厚労省の考えです。ユーアンドアイの15年はこの一連の流れの中にあり、それはこの2・3年で大きな節目を迎えることとなります。私たちにとっても大事な時期となりますので、さらに、誰もがその人らしく暮らしていける地域を目指し取り組んでまいります。

今年も、皆々様のご支援とお力添えを賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



・・・会員さんから・・・

リレートーク

・・・会員さんへ・・・



鈴木絃一さん

「生きている化石・イチョウ」の話



皆さんは、イチョウは「生きている化石」と呼ばれているのをご存知でしたか？

イチョウは太古の昔、北半球を中心に何種類も繁栄していましたが、大氷河期に入り恐竜と共にほとんどが絶滅しました。日本でも山口県、北海道で氷河期以前の化石が見つかったので、日本のイチョウも絶滅したのです。しかし、奇跡的に氷床を免れた中国の南部の谷間に一種類だけがかろうじて生き残りました。そのイチョウが仏教の伝来とともに、日本にやって来ました(平安後期から鎌倉時代)。イチョウはヒトの手によって日本の土壤に復活できたのです。更に、徳川綱吉の時代にドイツ人医師のケンペルが日本のイチョウに魅せられ、その苗をヨーロッパに持ち帰り紹介しました。こうして、ヒトの手によってヨーロッパの土壤にもイチョウが復活できたのです。そこから更に、人の手を介して世界へ広がることになったのです。イチョウとヒトの間には、深い「歴史秘話ヒストリア」があるのです。

今は真冬で裸となっているイチョウの木ですが、この原稿を書いている時は見事な黄葉の大イチョウが窓越しに見えていたんですよ。

ユーアンドアイの業務もヒトの手だけが頼りです。利用者様の心に寄り添いながら、必要な時に

必要な場所へ手を差し伸べていきましょう。きっと、ユーアンドアイの理念はその実践を通して、イチョウのようにヒトに愛されて大きく広がることでしょう。



子どもの頃のお正月は何をしていた？ お正月の楽しみはなに？



冬休みに入ると友達へ出す年賀状書きが楽しみでした。

凧揚げ、羽根つきをして遊びました。

大家族のわが家ではたくさんの煮物を作りました。子供の私は、台所に居座ってはその味をつまみ食いしていました。

大晦日になると忙しい母が休む暇なくおせち料理を遅くまで作っていました。

わが家は甘い餡子と塩餡子の 2 種類を必ず作っていました。九州生まれの父が、「九州男児は甘く見られたくないからだ」と話していたことを思い出します。

お正月がくると思い出す今は亡き母の絶品羊かん!!
今でも孫たちの語りぐさに…



もらったお年玉で文房具を買うことが楽しみでした。

主人と私の両方の実家でにぎやかに過ごした後、わが家に帰ってホッとする瞬間が楽しみです。

自宅近くの公園に初日の出を見に行っています。田んぼから出る太陽に毎年、パワーをもらっています！

お正月になると、緋の着物と羽織を朝から母におねだりして着せてもらうのが楽しみでした。

祖父母の家に行き、お年玉をもらうのが楽しみでした。

年末家族総出で作ったおせち料理をいただく時、家族みんなが笑顔になる瞬間が楽しみです。

子どもの頃は、元気に雪の中を走り回っていました。



孫にお年玉をわたし、嬉しそうにする孫の顔を見るのが楽しみです。

皆さん 27 年のお正月はいかがでしたか？ 今度お話を聞かせて下さいね。

★ユーアンドアイのニューフェイス★



た：徳丸秀康さん



介：大関咲江さん



笑顔でがんばります！
よろしくお願いします。



介：藤田里子さん



ぱ：荒井聖子さん



た：鴨志田武人さん



介：吉田和江さん



ぱ：垣田悦子さん

各部門より新年のご挨拶

《たすけあい》

生活の一部になっている移動サービスを始めて15年が過ぎました。皆様のご協力のおかげでこんなに長期間続けてこれたことに感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。今後も安全運転でさらに継続できますよう、ご協力よろしくお願ひします。

《介護ステーション》

27年4月に介護報酬の改正がおこなわれます。どのように変わって行くのか少し不安ですが、利用される方たちが安心して頂けるように、ヘルパー共々勉強して行きたいと思っています。いつも笑顔で頑張ります。

《学内支援》

27名の方達が様々な学校で頑張っています。担当している児童もそれぞれに一回り遅しくなって進級に向けての締めくくりの時期を迎えます。子どもたち一人一人が「この1年楽しかった」「頑張った」といえる思い出作りの手助けを3学期にしていけたらと思います。体がきつい時や心がへこむ時もありますが、頑張っていきます！3月には学校支援員向けにセミナーを開催する予定です。

《ぱれっと》

クオリティーオブぱれっと。スタッフ一同、支援の質を高めていきたいと思っています。子どものパワーに負けないで頑張ります！

ユーアンドアイ 15周年祝賀会



支援員によるダンス披露



みんなの声がひとつに！



中山市長から挨拶をいただきました



会員同士の交流も
深まりました



ハンドベルガールズによる演奏



桜井さんからいただいた
手作りウェルカムボード



10月26日、ケイジーノにて15周年祝賀会を開きました。
50名程の参加者と、歌って踊って楽しいひと時を過ごしました。

《ユーアンドアイの動き》

8/1～2 ぱれっと研修 in 東京(木島)
8/11～12 ぱれっとチャレンジステイ
8/18 職員会議
利根町福祉有償運送運営会議(佐藤)
8/19～20 さわやかブロック会議 in 宇都宮(佐藤)
8/22 茨移連理事会(佐藤)
8/24 理事会
8/25 福祉有償運送運営協議会(佐藤)
8/28 県地域支援事業推進会議(佐藤)
8/29 市民協働推進会議(佐藤)
9/2 安全運転管理者講習会(泰道)
9/12 職員会議
9/13～15 構造化研修(木島)
9/27 相談支援従事者研修(木島)

9/27 ヘルパー研修会
10/16 龍ヶ崎障がい福祉サービス
事業所連絡協議会(木島)
10/20 職員会議
10/25 ぱれっとボウリング OBOG 会
10/26 15周年祝賀会
10/31 相談支援従事者研修(木島)



～事務所からのお知らせ～

〈おでかけサービスを利用される方〉

大雪や台風等の天候によっては、危険を伴うこともあるため、送迎をお断りさせていただきますことがあります。どうぞご了承下さい。

おでかけサービスの予約は前日までにご連絡下さい。協力者への依頼・調整等がありますので、ご協力下さい。

〈衛生管理〉

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防のため、手洗い・うがいをこころがけましょう。



編集後記

明けましておめでとうございます。
夜更かしをすると次の日にドンと疲れのくる歳になりました。(笑)睡眠は大事ですね。たくさん寝て、ほどほどに食べ、健康な年でありますように！

今年も皆さんにたくさんの情報をお伝えしたいと思います。掲載したい記事がありましたらお知らせ下さい。

(K×2)

NPO 法人ユーアンドアイ

〒301-0017

茨城県龍ヶ崎市姫宮町104番地

電話(平日 9:30～17:00) 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <http://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp

